

◇-----◇
下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2012. 2. 6

下水道機構の『新技術情報』 第 32 号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

◇-----◇

今日は、筋肉痛でメルマガをお読みになっている方がたくさんいらっしゃるかしら？
一昨日、2/4(土)下水道職員健康駅伝大会でしたね。下水道機構からも7チームを結成し挑んでまいりました。その結果は？下記、インフォメーションのコーナーで！！
さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第 32 号をお届けします。
業務に Tea Break にご活用ください。

■□■□トピックス□■□■

★インフォメーション

- ・1月25日に平成23年度第1回下水道クイックプロジェクト推進委員会が開催されました
- ・1月26日に平成23年度第2回審査証明委員会が下水道機構特別会議室で開催され、45の技術について答申されました
- ・下水道職員健康駅伝大会で機構14位に入賞！

★機構の動き

- ・今週は技術サロン(講師：横浜市水道局事業推進担当部長 川名 薫氏、テーマ：「横浜市水道事業における水ビジネス展開」)および新技術現場研修会(場所：千葉市南部浄化センター 鋼板製消化タンク)が開催されます。

★Tea Break

- ・ベトナムで感じた昔の日本(研究第二部 副部長からの投稿です)

★みなさまからのコラム

- ・自然の叡智に学ぶ"技術セミナー(第3回)開催のご案内

★国からの情報

- ・2月3日付け下水道ホットインフォメーションです

インフォメーション (最新の話です)

●平成 23 年度第 1 回下水道クイックプロジェクト推進委員会が開催されました

1 月 25 日(水)に第 1 回下水道クイックプロジェクト推進委員会が下水道新技術推進機構で行われました。下水道クイックプロジェクトとは、下水道未普及地域の解消を早急に図ることを目的として、候補技術を実際の現場に適用しその性能を確かめ、検証結果を現場の人が使いやすいガイドラインにとりまとめする取組み（一般化）です。これまでにクイック配管（露出配管・簡易被覆）などの 5 つの技術が一般化され、ホームページで技術利用ガイドが公開されております。↓

<http://www.mlit.go.jp/crd/sewerage/mifukyu/06.htm>

今年度は、現在社会実験中の工場製作型極小規模処理施設（接触酸化型および PMBR）の初期対応としての一次評価（供用開始直後の処理状況の確認）と、クイック配管（側溝活用）の一般化を行う予定です。第 1 回委員会では、いずれの技術とも建設コストの面で委員から多くのご指摘をいただきました。とりわけ処理施設に関しましては、土木職だけではなく建築、機械、電気と複数の職種が関わり、地域によって工種ごとの費用にも偏りが見られますので、コストの内訳を踏まえた評価が非常に重要なものとなります。また、クイック配管（側溝活用）につきましては、昨年度一般化されたクイック配管（露出配管・簡易被覆）と異なる特性を有していますので、クイック配管（露出配管・簡易被覆）の検証項目の一部を変更して審議が行われました。

委員会資料等は、後日ホームページに公開される予定ですので、詳しくはそちらをご参照ください。

<http://www.mlit.go.jp/crd/sewerage/mifukyu/index.htm>

●1 月 26 日(木)に平成 23 年度第 2 回審査証明委員会が下水道機構特別会議室で開催され、45 の技術について答申されました。

これら技術は、平成 23 年 5 月 20 日までに申請され、平成 23 年 6 月 26 日に平成 23 年度技術として諮問を受け、現地立会を含め、技術的な内容について厳正に審査された技術です。この後、これら技術は平成 24 年 3 月 8 日に下水道機構で開催される「建設技術審査証明事業（下水道事業）交付式」にて審査証明書が交付される予定です。

以下に 45 技術の名称を記載します。

（新規 12 技術）

Two-Way ライニング工法、Kana Slip 工法、大口径既設管耐震化工法、ハイノッチチェン汚泥かき寄せ機、複翼式曝気攪拌機、FJ ボックスカルバート、MMS ボックスカルバート、ファイン工法（被膜鞘管工法）、クリアフロー工法、ARIS ライナー工法、リフォスマスター汚泥MAP 型、スミジェッター

（変更 13 技術）

プラスチック製貯留・浸透施設、ハイドロスタッフ、QE支管（クイックイージー支管）、3Sセグメント工法、SPR工法、パルテム・フローリング工法、スぺーサージョイントDR、FRP光硬化内面補修工法、スナップロック工法、FRP内面補修工法、Kメンブレン、FFT-S工法、メンブレンパイプ式超微細気泡散気装置

（更新 20 技術）

PSシート工法、サンタックキャップ、サンタックキャップFD型、サンタック支管、スぺーサージョイントN3(※3の表記はローマ数字の大文字の3です)、クリスタルライニング工法、アースドレーン工法、フロートレス工法、スぺーサージョイントN2(※2の表記はローマ数字の大文字の2です)s、ASS工法、エパーフ工法、EPR工法、メカニカル固定式ゴムシール型可とう支管、CS工法、CP工法、ヒット工法、パルテム取付け管工法、超微細気泡メンブレンディフューザー、3FMろ過装置、高速砂ろ過装置

●下水道職員健康駅伝大会で機構 14 位に入賞！

2月4日(土)神奈川県横浜市の日産スタジアムで第26回下水道職員健康駅伝大会が開催されました。

今大会は、過去最高の307チームが参加し、優勝は名古屋市上下水道局(39'00")。当機構からもOBチームを含め7チームが参加し、みごと、選抜チーム「機構スピリット」が過去最高順位で14位(43'44")でゴール、最も遅かったチームでも307チーム中272位に入るなど健闘しました。昨年の最高順位が58位、最下位であったことを考えると大躍進でした。機構チームの結果は次のとおりです。

機構スピリット	---	14位	43'44"
チームちゃんぷる～	---	159位	53'36"
JIWET・OB	---	192位	54'49"
チームバイオマス	---	242位	56'24"
チームマンホール	---	257位	56'51"
チーム公家	---	272位	58'26"
チーム研一くんリベンジ	---	264位	57'50"

機構の動き (機構の行事予定です)

●2月9日(木) 17:00～18:00(場所:機構8階会議室)

第301回技術サロン(講師:横浜市水道局事業推進担当部長 川名 薫氏、
テーマ:「横浜市水道事業における水ビジネス展開」)

●2月10日(金) 14:10～16:40(場所:千葉市南部浄化センター 鋼板製消化タンク)

第 59 回 (平成 23 年度第 3 回)新技術現場研修会

- 2月16日(木) 14:00~16:00(場所:機構 8 階特別会議室)

第 3 回 汚泥処理新技術実用化評価委員会

- 2月16日(木) 14:00~16:00(場所: 機構 8 階中会議室)

第 3 回 水処理新技術実用化評価委員会

Tea Break (機構職員の感じるまま)

- ベトナムで感じた昔の日本 (研究第二部 副部長からの投稿です)

この冬、ベトナム好きの娘に引かれてホーチミンに行ってきました。

この国は経済成長真っ盛りで、いま上映中の *Always* に見る高度成長時代の日本を感じました。ホーチミンは凄い活気で、バイクが走り回りなかには 4 人乗り。駐車バイクが歩道を埋め尽くしており、信号無視もあたりまえ。派手なクラクションが鳴り響き、排気ガスを避けたマスク姿の人々。歩道のブロックもがたがた。飲食店、屋台、物売りがいたるところに居て、その前で座って食事する人々。至る所でビルの工事で歩道が遮断されダンプカーが行きかう。そう書くと雑多で汚いイメージに聞こえますが、滞在してるうちに多くのことに気がつきました。歩道のブロックの隙間にゴミはなく、ほうきで掃除してる人を何度も見かけました。街路樹は綺麗に刈り込みされ、歩道のバイクは綺麗に並べられ工事現場前にはガードマンがいて歩く場所は確保されている等。強烈な喧騒が目立ち見えなかっただけで、秩序とルールを持って人々が生活してることに気がつきました。

暴走族のようなバイクの走りも、横断してわかったことは、ぶつからないよう減速したり避けながら、川のように流れていきます。派手なクラクションは、路線バスの警笛で停留所に止まる前など事故を避ける合理的な理由のようでした。本の暴走族のイメージから勝手に勘違いしてただけで、この国には市民全体に「守るべきルール」が暗黙の了解事項としてあるようで、物事に対して大雑把さと暗黙のルールがあって、それがうまく機能して豊かさを求めて成長してるようです。

今の日本は、豊潤な生活の中で権利意識ばかり強くなり萎縮していますが、昔はこんな活気が至る所にあったなと感じました。

ベトナムでの下水道海外展開も、昔の日本と似た市民感覚を理解してみると肝要かもしれません。映画 *Always* の日本を見ながら感じました。

みなさまのコラム (皆様からお寄せいただいた情報です)

- "自然の叡智に学ぶ" 技術セミナー (第 3 回) 開催のご案内

(財) 大阪科学技術センターでは、自然の叡智から学ぶ技術開発に対する産業界の関心を高め、新たな製品開発へのヒントや糸口を提供する場として、3 回シリーズによる「自

然の叡智に学ぶ技術セミナー」を実施しています。第3回セミナーは、2月27日（月）、
「生物に学ぶアクアイノベーション」をテーマに、企業（研究、企画、生産、経営部門等）、
大学、研究機関等を対象に開催します。

今回のセミナーでは、生物由来の新しい技術やアイデア、即ち生物の機能、構造、メカニズムなど"自然の叡智"を活用した水に係わる新しい技術や、廃水・廃棄物の新しい活用技術等を紹介し、環境、エネルギー、資源など我が国の抱える課題の解決や新たな水ビジネスへのヒントを探りたいと思います。

詳細については、大阪科学技術センターホームページ

(URL ; http://www.ostec.or.jp/data/news_ostec/aqua_innovation.pdf) をご覧ください。

※ 本セミナーは、(財)大阪科学技術センターの主催、モノづくり日本会議の共催で、当下水道機構も後援しています。

◇開催日時：平成24年2月27日（月）13：00～18：00（受付開始：12：30～）

◇会場：（財）大阪科学技術センター 8階 中ホール（〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4）

◇プログラム

【基調講演】（13：00～14：05）

テーマ：「微生物による廃水・廃棄物処理技術～水ビジネスへの応用～」

京都大学大学院都市環境工学専攻 教授 津野 洋 氏

【各 論】

「水を浄化する」

○「新種藻類を用いた放射性物質汚染水の除去・浄化」（14：05～14：55）

(株)日本バイオマス研究所 代表取締役、筑波大学大学院 非常勤講師 湯川恭啓 氏

○「微生物を用いたレアメタル・貴金属の回収」（15：05～15：55）

大阪府立大学大学院工学研究科 教授：小西康裕 氏

「エネルギーをつくる」

○「下水汚泥低温炭化燃料化技術の特徴と事業化について」（15：55～16：45）

月島機械(株) 水環境事業本部ソリューション技術部熱技術第2グループ・リーダー 横幕宏幸 氏

○「海流発電装置(マグロ型水流タービン) について」（16：45～17：35）

(株)ノヴァ・エネルギー 代表取締役 鈴木清美 氏

【名刺交換会】（17：35～18：00）

シーズと参加者ニーズのマッチングの場として、講師を囲んでフリーに懇談して頂く、名刺交換会を行います。

○「下水道クイックプロジェクト」キャラバンのご案内【下水道事業課、下水道機構】

先般「下水汚泥エネルギー化技術に係る説明会」について、ご案内を差し上げておりますが、福岡（2/9）以降に開催する「下水汚泥エネルギー化技術に係る説明会」のなかで、「下水道クイックプロジェクト」についてもあわせてご紹介させていただくことになりました。

会場および日程は、福岡（2/9）、金沢（2/13）、名古屋（2/20）、鹿児島（2/21）、広島（3/13）となっております。

「下水汚泥エネルギー化技術」および「下水道クイックプロジェクト」にご関心をお持ちの皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

お問い合わせは、下水道新技術推進機構・資源循環研究部（TEL03-5228-6541、FAX同 6512）まで。

○東日本大震災・水インフラ復興シンポジウム「未曾有の災害を教訓に進化をめざす水インフラ」

【主催：日本水道新聞社(日本下水道新聞・日本水道新聞)、ICS コンベンションデザイン 後援：国土交通省など】

日本下水道新聞・日本水道新聞が東日本大震災発災直後から被災地取材に当たり着目した、被災地での切実な体験談や取り組みを通じて、今後の復興ロードのあるべき姿を思考し、宿命的な地震国における水インフラの今後あるべき姿と危機管理の重要性を科学的に情報発信していく機会とします。

日時：平成 24 年 2 月 15 日（火）10 時 30 分～17 時 30 分

会場：東京ビッグサイト 会議棟 1 階 レセプションホール A

プログラム

(午前の部)

◆基調講演

長峯純一 関西学院大学総合政策学部教授、気仙沼市震災復興会議委員

菅原 茂 気仙沼市長

(午後の部)

◆事例提供

亀山 紘 石巻市長、石巻地方広域水道企業団企業長

◆オープンディスカッション「見逃せない水インフラの復興深層」

・コーディネーター＝▽竹村公太郎・水の安全保障戦略機構 事務局長

・パネリスト

▽亀山 紘・石巻市長、石巻地方広域水道企業団企業長

▽降矢正一・郡山市水道事業管理者

- ▽野村充伸・日本下水道事業団技術戦略部長
- ▽佐藤裕弥・浜銀総合研究所地域経営研究室長

◆特別講演

猪瀬直樹 東京都副知事

◆事例提供

安附太郎 仙台市建設局経営企画課資産管理戦略室主任

◆オープンディスカッション「危機管理と上下水道アセットマネジメント」

・コーディネーター＝▽滝沢 智・東京大学大学院教授

・パネリスト

▽熊谷和哉・厚生労働省健康局水道課水道計画指導室長

▽加藤裕之・国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道事業調整官

▽石井美樹・東京都水道局給水部配水課長

▽安附太郎・仙台市建設局経営企画課資産管理戦略室主任

●札幌市下水道事業中期経営プラン 2015 を策定!!【札幌市】

札幌市では、将来を見据えながら今後 5 年間の下水道事業を計画的・安定的に実施することを目的として、「札幌市下水道事業中期経営プラン 2015（計画期間：平成 23 年度～27 年度）」を策定しました。

本プランは、今後 10 年間で札幌市の下水道事業が取り組むべき施策の方向性を示す「札幌市下水道ビジョン 2020」で掲げた目標を具体的に実現するための行動計画として位置づけています。

詳細はこちら ⇒

<http://www.city.sapporo.jp/gesui/keieiplan/keieiplan2015.html>

●冬でもあったか！「ばいお〜ゆ」【富山県黒部市】

富山県黒部市の黒部浄化センターでは、昨年 5 月に下水道バイオマスエネルギー利活用施設が稼働しました。この施設の特徴は、化石燃料を使用せずバイオマスエネルギーだけで下水道汚泥を乾燥燃料化する「自己完結型」の施設となっている点と、コーヒー粕を混合してメタン発酵させている点です。

また、施設に併設されて地下水をバイオガスで沸かした足湯が無料開放されています。

連日多くの市民でにぎわっています。足湯が永く市民に親しまれるようネーミングを募集し、応募作品の中から昨年 11 月末に「ばいお〜ゆ」と決まりました。北陸の冬季間は雪や肌を突き刺すような強風が吹き荒れますが、寒い冬でも快適に足湯につかって頂けるよう、足湯全体をテントで囲んだことにより快適空間を作り出しました。

ぜひ、お近くにお越しの際は、黒部の足湯「ばいお〜ゆ」であたたまって行って下さい。

お問い合わせ：黒部市役所上下水道部工務課 TEL 0765-54-2111 (内 622)

<http://www.city.kurobe.toyama.jp/guide/svGuideDtl.aspx?servno=2221>

=====

【参考情報】

◆第7次水質総量規制 東京湾、伊勢湾及び瀬戸内海の「総量削減計画」に環境大臣が同意 <1/27 EIC ネット>

<http://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=26527&oversea=0>

◆名古屋のデパート前、歩道が陥没 <1/27 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/national/news/20120127-OYT1T00503.htm>

◆再生水：都市での利用、日中韓3カ国があり方議論 北九州市でワークショップ／福岡 <1/27 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/fukuoka/news/20120127ddlk40040370000c.html>

◆室蘭・輪西の下水管調査へ一雨水流入、処理量超える <1/28 室蘭民報>

http://www.muromin.mnw.jp/murominn-web/back/2012/01/28/20120128m_01.html

◆丹波市立市島図書館：当面閉鎖 下水逆流、館内水浸し／兵庫 <1/28 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/hyogo/news/20120128ddlk28040388000c.html>

◆汚染木材：バイオ燃料作る技術、東京農大客員教授ら開発 放射性物質「99%」除去 <2/1 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/select/science/news/20120201ddm002040195000c.html>

◆下水道事業の手引 平成23年版 好評発売中

http://www.suido-gesuido.co.jp/blog/info/2011/06/post_34.html

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～



発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えたい情報をお持ちの方はこちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニューズレターはこちらから → <http://www.jiwet.jp/newsletter/20111130/>

○コラムの正解はこちらから→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20111130/seikai.pdf>



